

## 令和元年度 9月議会報告

令和元年9月3日から10月2日まで令和元年度9月議会が開催されました。

今議会では平成30年度決算審議、宿泊税等の議論がされ、私は決算特別委員会第一分科会の主査を務めました。また本会議では会派を代表し、幹事長として初めて会派質疑を行いました。



### 決算特別委員会第一分科会報告

上記のとおり主査として、分科会の進行を行いました。第一分科会は総務局、企画調整局、財政局、産業経済局、港湾空港局、公営競技局、行政委員会事務局、会計室、秘書室、広報室、農業委員会、議会事務局の審査を行います。

平成30年度の財政運営はおおむね順調でしたが、交通会計や病院会計等の企業会計の赤字が報告されました。分科会では今話題のIR（統合型リゾート）も含め活発な議論が繰り広げられました。

私からは主査として、この決算議論を踏まえて令和2年度予算編成をするように要望しました。



# 本会議会派質疑内容

## 宿泊税の導入について

宿泊税は6月に県が一人当たり200円（県100円、市100円）を徴収するように決めました。本市も例外ではなく、来年4月より宿泊税を県税として徴収することになるわけですが、北九州市はこの宿泊税を直接徴収（県50円、市150円）する議案が上がりました。

県が徴収すると北九州市には観光促進のために年間2億円が入ってきますが、市が直接徴収すると年間3億円入ってきます。明らかに直接徴収する方が有利なわけですが、また今回は実施しません。将来学生の減免等、独自に決めることも可能になります。

今回は宿泊税の使い道について質疑しました。市長からは宿泊者アンケート等で要望が多かった「観光案内所の機能の強化」、「Wi-fi 環境の整備」、「宿泊施設へのインバウンド対応支援や宿泊助成」、「空港アクセスの強化」等を考えているとの答弁がありました。



## その他

財政の安定化への取組み、3年連続赤字の交通事業会計、高齢者の事故による交通安全対策や免許返納支援、資源循環型経済を進めるホラシスアジアミーティング、文化都市北九州、避難所の食事について質疑を行いました。

## 議会は政策も作ります!!

### 『EAT北九州開設!』

平成29年度、30年度と経済港湾委員長を務めさせていただきました。その時の所管事務調査（議会が調査し政策提言を行う）で提案した地元の店のメニューを多言語化し、世界に向けてアップするサイト「EAT北九州」が完成しました。

北九州市に来る外国人で一番多い韓国で調査したところ、日本に来てのお店選びは、多くの方が出国する前にネットで情報収集し決めてくることが分かりました。「EAT北九州」を使うと外国の方が日本に来る前に、北九州の様々な美味しいお店やメニューを選ぶことができます。

「EAT北九州」は簡単に今のメニューが多言語化でき、自動的にネットに流れるすぐれものです。現在の日韓関係は心配ですが、より多くの外国人観光客を呼び込み、北九州市にお金を落とすよう期待しています。

